

電気電子情報工学科

卒業に関する説明 (4年生)

履修要綱

大学の理念と目的

I. 共通基盤教育

共通基盤教育の授業科目配当表

II. 専門教育

電気電子情報工学科 専門科目配当表

卒業研究履修の資格

卒業要件

III. Stop the CO2プログラム



履修を進める上で重要な資料があります。

それは履修要綱です。

これには授業の履修計画に必要な科目配当表、卒業研究履修の資格
卒業要件などが説明されています。

履修要項は卒業まで使いますので、決して紛失しないようにしてください。

注：履修要綱は卒業まで使用します。決して紛失しないようにしてください。

コース制

●EA(実践的エンジニアコース)

個性(得意分野)を伸ばす→選択の自由度大

●EC(電気主任技術者コース)

電験3種関係の資格取得を目指す

●EE(教員養成コース)

教員採用試験合格を目指す

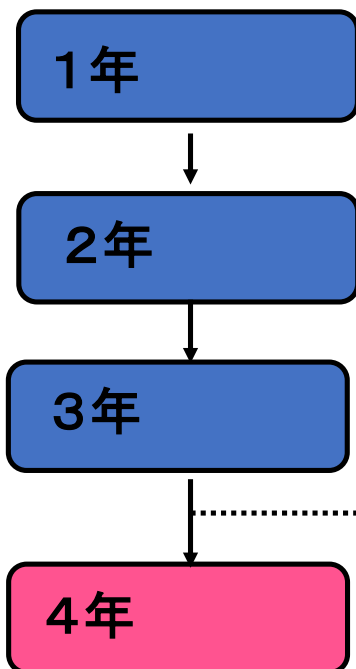


ここでは、コース制について説明します。
電気電子情報工学科では、コース制を設けています。
コースには、EA, EC, EE, ETがあります。
EEは入学時に、ETは入学時および1年次の9月に、それぞれ選択する機会があります。
EAとECの2コースは、2年生進級時に選択することになります。
ほとんどの学生がEAまたはECコースに所属することになります。
各コースについては、履修要項に特徴などが記載されていますので、ここでは説明を省略させていただきます。

●ET(特別専攻)

次世代の研究および技術開発を担うリーダーを目指す

卒業までのプロセス



卒業までの流れについて説明したいと思います。
4年生では卒業するために**少なくとも124単位**分の授業に合格する必要があります。
さらに、卒業するために取得しなければならない科目があります。
この**要件を満足する必要**があります。十分注意して履修計画をたてる必要があります。
前期終了時点で、卒業研究ならびに電気電子工学ゼミ以外のすべての履修科目の単位取得に成功していることが望ましいといえます。

卒業研究履修資格
104単位以上と
他の条件を満たせば、
卒業研究着手

卒業研究**6単位**と電気電子工学ゼミ**2単位**

卒業要件 **124単位以上**と他の条件 **卒業**

前期終了時点で、卒業研究および電気電子工学ゼミ以外の
全ての卒業要件を満足していることが望ましい。

履修要綱 p.66
卒業要件



卒業要件をくわしく説明します。卒業には、卒業に単位取得が必要な科目があります。このスライドでは、卒業要件の一覧表を示します。

表は、第一列に教育区分、第二列に必選別、第三列に卒業必要単位が記載されています。教育区分は共通基盤教育、専門教育と任意にわかれます。区分は、例えば共通基盤が導入系、倫理系などにあるように、細目に分かります。細目ごとに要件が存在します。

必選別には、必修、選択、選択必修の区別が記載されています。

卒業必要単位数の欄はA、C、Eに分かれています。これは先程説明したEAコースとECコース、EEコースを意味します。

第三列には、卒業のために必要な単位数が明記されています。たとえば、共通基盤教育の導入系では、必修科目をEA、ECコースともに、1単位、習得しなければならないことを示しています。この表から、卒業までに、共通基盤教育科目を **32** 単位、専門教育科目を **79** 単位、任意を **13** 単位、合計 **124** 単位を修得しなければならないことが分かります。

任意科目は、共通基盤、専門教育科目の必要単位数をこえて取得した単位などで充当します。それぞれは**青い枠線**で強調しています。

教 育 区 分			必選別	卒業必要単位数			
				A	C	E	
共通基盤教育	導 入 系		必修	1	1	1	
	倫 理 系		必修	—	—	—	
			選択	2	2	2	
	人 文 社 会 系		必修	2	2	2	
			a 群	必修	—	—	2
				選択	4	4	6
			b 群	選択	2	2	4
				c 群	選択	2	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）		選択	2	2	—	
	健康・スポーツ系		必修	—	—	2	
			選択	1	1	—	
	英 語 基 礎 系		選択	4	4	4	
	言 語 応 用 系		必修	—	—	2	
			選択	3	3	1	
	数 理 情 報 系		必修	4	4	4	
			選択	2	2	2	
キ ャ リ ア 系		必修	3	3	3		
			(小計)	(32)	(32)	(39)	
専 門 教 育			必修	40	60	40	
	専 門 基 礎 導 入	a ～ c 群	選必	7	7	7	
	専 門 基 礎		選択	8	4	8	
	専 門 基 礎 ・ 専 門		選必	—	4	—	
	専 門	a 群	選必	2	2	2	
			教職コース	選必	—	—	8
				選択	22	2	14
				選択	—	—	—
				(小計)	(79)	(79)	(79)
任 意			13	13	13		
合 計			124	124	131		

履修要綱 p.68
卒業要件
(特別専攻)

教育区分		必修別	卒業必要単位数
共通基盤教育	導入系	必修	1
	倫理系	選必	2
	人文社会系	必修	6
		a群 選択	2
		b群 選択	2
		c群 選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1
	英語基礎系	必修	8
	言語応用系	必修	6
	数理情報系	必修	2
	キャリア系	必修	6
		(小計)	(38)
専門教育	専門基礎導入	必修	15
	専門基礎	必修	28
	専門	必修	21
		選択	22
		(小計)	(86)
合 計			124



特別専攻の卒業要件を示します。表の見方は、さきほどと同様です。
特別専攻の学生には、任意科目はありません。青い枠線で示すように、共通基盤教育科目から38単位、専門教育科目から86単位が必要です。合計は赤枠のとおり、124単位です。

成績表(EAコースの例)



区 分	卒業要件	取得単位					合計	卒業不足	卒研不足	履修中
		1年	2年	3年	4年	認定				
導入系	1	1					1			
倫理系	2			2			2			
人文社会系	10	8	4				12			
倫理人社自由	2						0			
健康スポーツ系	1	2					2			
英語基礎系	4	2	2				4			
言語応用系	3	4					4			
数理情報系	6	6					6			
キャリア系	3					3	3			
共通基盤選択	—						0			
共通基盤合計	32	23	6	2		3	34			
専門導入必修	6	3	3				6			
専門導入選必	7	8					8			
専門導入選択	—			2			2			
専門基礎必修	16	9	7				16			
専門基礎選必	6		6				6			
専門基礎選択	8	4	4				8			
専門 必修	12			4			4	8		8
専門 選必	2			2			2			
専門 選択	22		4	18			22			
専門教育選択	—									
任意	13		4	5			9			
総合計	124	47	34	33		3	117	8		8

卒業研究6単位、電気電子工学ゼミ2単位
に対応しますのでみなさん表示されます。

区 分	卒業要件	取得単位					合計	卒業不足	卒研不足	履修中
		1年	2年	3年	4年	認定				
導入系	1	1					1			
倫理系	2			2			2			
人文社会系	10	8	6				14			
倫理人社自由	2						0			
健康スポーツ系	1	2					2			
英語基礎系	4	2	1				3	1		
言語応用系	3	4					4			
数理情報系	6	6					6			
キャリア系	3					3	3			
共通基盤選択	—									
共通基盤合計	32	23	7	2		3	35	1		
専門導入必修	6	3	3				6			
専門導入選必	7	8					8			
専門導入選択	—			2			2			
専門基礎必修	16	9	7				16			
専門基礎選必	6		6				6			
専門基礎選択	8	4	4				8			
専門 必修	12			4			4	8		8
専門 選必	2			2			2			
専門 選択	22		4	16			20	2		
専門教育選択	—									
任意	13		5	5			10			
総合計	124	47	36	31		3	117	11		8

前期:英語と専門科目に不合格があった場合

英語が
前期で不合格



後期に受講し
試験に合格する



専門科目が
前期で不合格

次に成績表の見方について簡単に説明します。
第一列に**教育区分**が記載されています。
第二列に**卒業に必要な単位数**が示されています。
第三列に、**学年ごとに取得した単位数**が示されています
その合計が第四列です。
第五列には、**不足単位数**が記載されています。
第六列には、**卒業研究着手に不足している単位数**が
かれます。
4年次に進級している学生さんはこの列は空欄のはず
です。そして、一番右の列に履修中の単位数が示されて
います。
これは例えば、通年実施される科目でまだ評価が出てい
ない科目や、成績判定中の科目などが該当します。
一番下の行には合計がかかれます。
卒業不足欄と履修中欄は必ずチェックが必要です。
卒業不足分を補償できないような場合には、**確認する
必要**があります。
なお、**黄色で示している欄**は卒業研究と電気電子工学
ゼミの8単位を表しており、4年次通年で履修するため、
みなさん全員の成績表に記載のあるものです。お気にさ
れる必要はありません。

さて、右側の成績表を例に卒業要件単位に不足のある
場合の説明をします。前期に英語系の科目1単位と、
専門科目2単位が不合格であった場合を考えます。**水
色でハッチングしている欄**が該当します。
これらは後期に受講して試験に合格しなければなりませ
ん。
黄色でハッチングした項目以外に数字が記載されている
欄がある場合には同様に後期での単位取得が求められ
ます。

重要事項

- 単位認定科目(検定)について
検定等で単位認定申請を検討している場合は
早めに手続きをさせてください。

例:

- ・単位認定されている資格に合格していた
- ・TOEFL、TOEICで、大学が指定している点数以上得られた

**教務課への申請手続きが遅れると対応が間に合
わず、単位不足で卒業できないこともあります。**

国家資格に関する説明 (卒業後)



つぎに、国家資格に関する説明をいたします。

電気電子情報工学科では、所定の科目を履修し、その単位を修得することで、国家資格取得に関する免除等が得られます。記載されているように、第二種電気工事士、電気主任技術者、電気通信主任技術者、工事担任者が該当します。これらは、電気電子情報設備における主要な国家資格です。

在学中の国家試験合格を目指し、集中講座を開講しています。将来希望する就職先の業種・職種にあわせ、受講を検討されると良いと思います。

・第二種電気工事士の筆記試験免除

所定の科目を修得し卒業した場合、申請により筆記試験が免除となる。

・電気主任技術者免状

所定の科目を修得し卒業した場合、実務経験により免状を申請できる。

・電気通信主任技術者試験の一部免除

所定の科目を修得し卒業した場合、申請により、電気通信主任技術者試験のうち、「電気通信システム」の試験科目が免除となる。

・工事担任者試験の一部免除

所定の科目を修得し卒業した場合、申請により、工事担任者試験のうち、「電気通信技術の基礎」の試験科目が免除となる。

以上で説明を終わります
